

## Topics from within

### AIAA Technical Committee on Communications Systems

編集委員 風神 裕

2002年1月14日 AIAA Technical Committee on Communications Systems (TCCS) が米国リノ市の Hilton Reno ホテルにて開催された。(今回も、テロ等の影響で出席できないメンバーの為に電話による参画も可能であった。) 同時期に AIAA Aerospace Sciences Meeting and Exhibit 他が開催されていた為、TAC (Technical Activities Committee) Group からの出席もあった。

#### 1月14日：TCCS 委員会

出席者全員の自己紹介の後、委員構成の説明があった。委員数は38名、その構成は、米国28名、カナダ4名、フランス1名、日本3名、ルクセンブルグ2名である。

bb

次に、TCCS 委員会関連の Web-site として、下記6サイトの紹介があった。

Main TCCS : [www.aiaa.org/tc/cms/](http://www.aiaa.org/tc/cms/)

General ICSSC : [www.aiaa-icssc.org](http://www.aiaa-icssc.org)

ICSSC-20 : [www.icssc2002.com](http://www.icssc2002.com)

ICSSC-21 : [www.ics-inc.co.jp/aiaaicssc21/](http://www.ics-inc.co.jp/aiaaicssc21/)

Space Japan Review (English version) : [www.aiaa.org/sjr/](http://www.aiaa.org/sjr/)

Space Japan Review (Japanese version) : [www2.crl.go.jp/mt/b150/SJR/](http://www2.crl.go.jp/mt/b150/SJR/)



TCCS on 14 January 2002

引続き、各 Subcommittee から、活動状況の報告があった。Japan Forum の活動内容について、飯田から、過去 1 年間の活動内容を中心に報告した。スペースジャパンレビュー 2001 年 10 / 11 月号(英文版)のコピーを回覧した所好評であった。また、スペースジャパンレビュー日本語版サイトへのアクセスは 200 件/月以上であることを報告した。

ICSSC-20 の準備状況について、Jack Rigley から報告があった。大会開催まで残す所 17 週間となった。Preliminary Program は AIAA Aerospace America の 2 月号に掲載予定。また、Session Co-Chair は 20 名不足、日本側にも協力を依頼された。

この後、風神より、ICSSC-21 の準備状況を報告。ICSSC-21 のテーマを、「The Impact of Communications Satellite on the Information Infrastructure」とすることで了解された。コロキウム議長の Niel Helm が快く引き受けてくれた。また、World Space Congress における JFSC 主催 TCCS 協賛のコロキウム「Broad Band Services through Satellites in Asia-Pacific」についても審議され、承認された。コロキウムの講演者探しに TCCS 委員が協力することになった。

次に、2004 年開催予定の ICSSC-22 の候補地を、米国西海岸の Monterey と San Diego に絞り検討を進めることになった。また、大会 General Chair と Technical Chair を Boeing 社にお願いする予定である。

最後に、次回 TCCS 委員会を 5 月 12 日及び 15 日カナダモントリオール市で開催することを決め、閉会。

以上